道徳科の考え方と授業の工夫について

（道徳科の考え方）

道徳的価値の再定義（改めて考えること）

～　本当の道徳的価値を知るために　～

展開例）

① 道徳的価値の定義（個人的理解）

↓

② 価値観や信念に揺さぶりをかける活動・聴き合いや「心のものさし」等を通した多面的理解

↓

③ 道徳的価値の再定義

↓

④ 自分ごととしての思考

内省（振り返り）

～　自分の言動を振り返る　～

展開例）

① 自分の言動の認識

↓

② 再定義された道徳的価値に基づく振り返り

↓

③ 理想と現実を踏まえた今後の目標設定

転移（自分ごと）

～　自分ごととして考える＝思考の発達を見取る目安　～

教材の読み取り

↓

転移　展開例）

① 自己移入（自分が教材文の登場人物だったらどうするか。）

↓

② 状況の転移（自分にも同じようなことがなかったか。そのとき自分はどうしたか。）

↓

③ 道徳的転移（これから同じようなことがあったらどうするべきか。）

（授業の工夫）

【考える】　道徳的価値や自分自身について考える時間を設定し、自分を見つめたり、気付かせたりする。

＊短縮教材の使用　―　考える時間の確保のために教材の短縮版を作成し、状況理解を素早く行えるようにする。

＊問題解決型の展開　―　何が問題か、どうすればよいのかを考える。

【学び合う】友達と考えを交流する時間を設定し、自分と異なる多面的な見方・考え方に気付かせる。

＊聴き合い　―　友達の意見を聴き、再考する。（個人での思考→学び合い→個人での再考）

【表す】自分の考えを表す場を意識的に設定する。言葉にならない思いも大切にし、様々な方法で表現させる。

＊ワークシートの使用　―　考える時間を確保するために、ノートだけではなく授業ごとのワークシートを使用する。
学習の記録を積み上げていくことで、自分の変化等にも気付かせる。

＊心のものさし等　―　他者理解を深めるために、視覚的に表す。
葛藤のある場面では、曖昧な自分の考えを表すことができる。